

桃井第一通信

No. 6 6 1

桃井第一小学校
(3390)3178(代)

令和4年 2月号



学力と体力とゲームの関係

高橋 浩平

コロナの感染拡大で、1月の学校公開は中止になりました。楽しみにされていた保護者の皆様には、大変申し訳なく思います。今後の状況については、まだまだ見えないところが多いです。対応についてはその都度ご連絡いたしますが、本人の体調がすぐれない場合はもとより、同居している家族等の体調がすぐれない場合も登校をお控えいただければと思います。ご協力をよろしくお願いします。

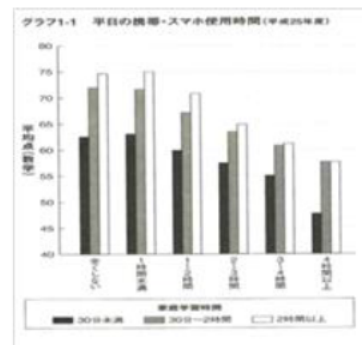
さて、若干古いデータで恐縮ですが、脳科学者の川島隆太さんが、『スマホが学力を破壊する』(集英社新書、2018)という本で、衝撃的なデータを出しています。このグラフは「平成25年度仙台市標準学力検査、仙台市生活・学習状況調査の結果」ですが、これを見ると、「家庭学習時間が2時間以上あるがスマホ使用時間が4時間以上ある生徒」よりも「家庭学習時間は30分未満だが、スマホを全く使用しない生徒」の方が得点が高い、という結果が出ています。このことから「スマホの使用時間と学力は大きな相関関係がある」と川島さんは言っています。この傾向は現在でも大きく変わっていないのではないかと思います。

では、体力はどうでしょうか。令和元年度の東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査結果では、スクリーンタイム（平日一日あたりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間）と体力合計点の関係が示され、「スクリー

ンタイムが長いほど、体力合計点が低い傾向がみられる」と指摘されています。

「YouTubeを見始めると長い時間見てしまう」「ゲームがなかなか終われない」といった家庭の声も聞かれます。こうしたことが長期にわたるとゲーム依存症といったケースにもなります。あるお医者さんの話によると、「未成年の依存症者には親に見捨てられてしまうというリスクはほとんどなく、それがかえって依存症の状態を支え、さらに重篤化させてしまう場合がある」という指摘がありました。

「ゲームをやりすぎると、学力や体力に影響がある」ということは明かです。子供たちには、理解をさせながら、自分でブレーキをかけられるようになってほしいと思います。でも「わかっているけどやめられない」に陥っている人もいるのではないのでしょうか。他方、もう「スマホなしの生活は考えられない」という世の中でもあります。お子さんの成長・発達を中心に据えながら、ご家庭の皆様と一緒に考えていけたらと思っています。



令和3年度 桃一小あいさつ標語大賞

あいさつキャンペーンの一環として、今年もあいさつ標語の取り組みをおこないました。入選作品を紹介します。なお、入選作品は校長室前に掲示しています。

- 1年 「おはようの あいさつひとつで きょうがかわる」
- 2年 「あいさつで 心のアーチ くぐっちゃお」
- 3年 「ともつなぐ ゆうじょうのかげら あいさつよ」
- 4年 「心から 気持ちのこもった あいさつを」
- 5年 「一言で 世界が変わる こんにちは」
- 6年 「きみの目が あいさつしたら かがやいて」



生活指導部だより 2月の生活目標「健康に気を付けよう」

「健康に気を付けよう」

変異株が増加し、再び緊張の走る生活の中、子供たちは新型コロナ感染拡大防止に努めながら、元気に過ごしています。

心も体も、健康の基本は生活習慣です。「十分な睡眠をとる」、「バランスのとれた食事をとる」など、正しい生活リズムを身に付け、病気に負けない体を作っていきます。また、病気の予防や感染症対策のために「マスクの着用・手洗い・うがい・消毒・換気」を心がけています。寒いからといって窓やドアを閉め切ったままにせず、新鮮な空気を取り入れましょう。学校では、寒い日でも外遊びに出るように声をかけるなど、子供たちが健康な体を作っていけるように過ごしていきます。

読書旬間 ≪2月7日（月）～19日（土）≫

桃一小では6月と2月の年に2回、2週間の読書旬間があります。この期間中は、朝の8時30分にオルゴールの音楽が流れ始めると10分間の校内一斉の読書タイムとなり、子供たちはそれぞれ本の世界を楽しんでいます。読書旬間の後には、おすすめの本の紹介カードを廊下や教室に掲示しています。

読書旬間の活動を通して、友達の読書感想文を読んだり、本の紹介をし合ったりすることで、読書への関心を高め、読書の幅を広げてほしいと思います。ご家庭でもテレビを消して、親子で読書や読み聞かせを楽しむ時間をもってみてください。

桃一小の研究

学校教育目標の「考える子」を重点目標に掲げて研究を進めています。昨年度までの「自己を見つめ、学び合う児童の育成」から「言葉により心を豊かにし、言葉を通じて人や社会とかわろうとする児童」にテーマを変えて国語の研究を始めました。児童の実態を踏まえ、低・中・高学年という分科会に分かれて研究・話し合いを行いました。

今年度もコロナ禍ではありましたが、3回の研究授業を行いました。子供たちが語彙力を豊かにし、コミュニケーションをとりながら意欲的に学習することを目指し、分科会で様々な方法を考え、授業づくりをしてきました。ロイロノートの活用や、言葉を獲得できるような工夫、楽しく表現できるような授業の工夫をすることで、自分の考えをよりはっきりと表現しようとする児童の姿が見られました。

たくさんの「言葉」により言葉の良さを知り、新しく得た言葉で伝えることを楽しめるように指導をしています。そして、友達と交流することで、さらに言葉を豊かにし、自分の考えの表現も豊かにしていくことを目指します。そのような「考える子」をこれからも育てていきたいと考えています。

「自分はっけん」「モモデミーショー」 2年生



2年生は、生活科で「自分はっけん」という学習をしています。自分のこれまでの生活や成長を調べたり、人に聞いたりする活動により、自分の成長を実感できるような機会にしたいと考え、学習を進めています。

2学期のモモデミーショーでは、小学校に入学してからこれまでの成長を振り返り、「演技・ナレーター」「音楽」「ダンス」「体育」の4チームに分かれて発表をしました。成長した姿を多くの人に見てもらいたいと、練習を重ねるごとに学年で力を合わせられるようになり、大きくたくましく変わっていく子供たちの姿を嬉しく思いました。ご家庭でもたくさん励ましや賞賛の言葉をいただき、ありがとうございました。



今学期は、生まれてからこれまでの成長の様子を、インタビューなどの活動を通して、「自分はっけんブック」にまとめていきます。一人ひとりのかけがえのない宝物のような、学習のまとめができるように取り組んでいければと思います。そして、3年生への進級に向けて、もう一步成長できればと思っています。